

「より良い、会」を 目指してまいります。

Vol.32

第35回東京旭川会総会・懇親会のご報告

2011年10月22日（土）「第35回東京旭川会 総会・懇親会」が西新宿のハイアット・リージェンシー東京で開催されました。出席会員は123名。



↑①ご来賓の入場とご紹介 ②旭川市長・西川将人氏
③「旭川に石川啄木の歌碑を建てる会」・相川正志氏
④旭川市議会議員・三井幸雄氏 ⑤旭川商工会議所会
頭・新谷龍一郎氏 ⑥「東京旭川会」副会長・吉田義勝氏

【旭川市との懇談会】今年、午後4時から1時間30分にわたり、西川市長をお迎えしてパネルディスカッションのスタイルで行いました。

（詳細は4～5ページをご覧ください）
【総会】午後6時、司会を務める横田茂副会長の紹介で、原公朗会長が議長となり、議案審議に。「平成二十二年事業報告並びに決算報告の件」「会計監査報告」「平成二十三年度事業計画並びに予算案の件」も

十二年度事業報告並びに決算報告の件」「会計監査報告」「平成二十三年度事業計画並びに予算案の件」も

今年は、「ふるさと」に出会おう」をキャッチフレーズに、地域別に8グループに分けました。ネームカードに出身小学校・中学校名が書かれているので、皆さん知らない同士でもすぐに打ち解け、会話が弾みます。

その後、三井尚美幹事の掛け声で恒例の空くじなしの大抽選会。北の富士さん、岩田公雄さん、西川市長などもくじ引きに加わり、当選者と握手をされ、大変盛り上がりしました。午後8時、旭川商工会議所・新谷龍一郎会頭の万歳三唱及び吉田義勝副会長の中締めで、参加者も多く、大いに盛り上がった会もお開きとなりました。

つつがなく終了し、大きな拍手で承認されました。
【懇親会】懇親会は、満場の拍手の中で、来賓入場とご紹介がありました。続いて、原会長の力強い挨拶の後、幹事が壇上に呼ばれ、このメンバーで東京旭川会をよりよい会にしていきたいと思います。その後、旭川市を代表して、西川市長からご挨拶をいただきました。また、「旭川に石川啄木の歌碑を建てる会」の相川正志会長から、現在の活動状況について詳しくご報告をいただき、最後に募金活動で皆さんにご協力をいただきたいたいのお願いがありました。続いて、三井幸雄市議会議員の音頭で、ふるさと旭川の発展を願い、全員で乾杯。

また、「啄木パネル展」や「啄木コーナー」には、早めに来場された会員が熱心にご覧いただきました。「東京旭川会会員カラー名刺」の受け付けコーナーも好評で、多くの方が申し込まれておりました。その後、「在京の高校同窓会紹介」では、旭川商業高校同窓会東京支部長でもある大場孝仁幹事が中心になって活動状況などを説明。20名の同窓生が声をそろえて校歌を歌って拍手を受けていました。



第32号：平成24年（2012）2月18日発行
発行：東京旭川会 〒121-0063
東京都足立区東保木間2-5-20
東京旭川会事務局（朝比奈康博）
TEL/FAX：03-3885-5300
編集：東京旭川会広報グループ

三十五年前「東京旭川会」を創設した先輩が掲げた主旨は「会員相互の親睦」と「旭川市への寄与」でした。このことは、今も変わることはありません。これを引き継いだ後輩の私達は、この意志を受け継ぎ、東京旭川会を一層発展、進化させ「より良い会」にするよう会員の皆様とともに努力して行きたいと思っています。



原公朗会長からのメッセージ 東京旭川会が目指すもの

まで大切にしてきた人々の直接のつながりが希薄になりつつあります。このことを考慮し、会のあり方を再考する必要があります。会員がお互いに意見を交換することも情報技術の進んでいる今日、より容易になっています。この機能を生かし会員相互の「対話」が自由にできる適切な方法があるのではないかと思います。

旭川を中心とした一市八町にこだわることなく、広く旭川圏として視野を広め、私たちの「ふるさと」を振り返ると新しい発見がありそうに思えるのです。そして、会員の知力と智慧を結果として「より良い会」に育て、会員であることを「誇り」として共に歩むことを東京旭川会の「理想」としています。

*本年度（平成24年）第36回の総会・懇親会は、10月27日（土）午後6時からです。ご予約ください。8月に改めてご案内いたします。

第35回 懇親会の様子

旭川市内出身者は小学校・中学校別に、市外出身者もグループピングして8つにグループ分けをしました。その結果、顔は知っていたけれど初めて中学校の同窓と分り仲良くなれた若手層も地域の話がきっかけになり、年配の輪に入れてよかったという声がたくさん聞きました。

10年以上、会の写真を撮り続けているカメラマン・加藤文哉氏によると「とにかくみんな熱かった。どのグループへ行ってもわんわんしゃべってうるさいくらい。今までこんなにぎやかなのは初めて。ネームの効果で、輪が広がった感じ。グループで写真を撮りますと言うと一発で集まるノリの良さ。今までになかったことです。」とのこと。写真でお伝えします。



オレンジ 東五条小、正和小、明星中
〈高橋照美〉

8グループ割の図

オレンジ

水色

料理台

ステージ

啄木とあさひかわ
ミニパネル展

白

ピンク



水色 朝日小、日新小、大成小、啓明小、旭川中、北都中
〈高木宏明〉



ピンク 啓明小、朝日小、光陽中、東光中
〈和田睦夫〉



白 当麻、愛別、東川、比布、東神楽、士別、上川、
鷹栖、芽室、石狩 〈安井規雄〉



旭川観光大使の北の富士さん、テレビでおなじみの岩田公雄さんはどこでも大人気。会員と一緒に記念撮影。抽選会の「くじ引き」でも大サービス。ありがとうございました。



↑藤井邦夫氏は、贈呈式終了後、「旭川の観光に何か役立つことを考えてみます」と抱負を述べられました。

近年は、小説家として専念され、特に時代小説において人気作を精力的に発表されています。主な作品としては、文庫シリーズとして『知らぬが半兵衛手控帖』シリーズ（双葉文庫）、『秋山久蔵御用控』シリーズ（文春文庫）、『評定所書役・終左門裏仕置』シリーズ（光文社文庫）など、人気作品が目白押しです。

藤井邦夫氏は、旭川北高出身で、日本大学卒業後、東映テレビプロダクションに入社されました。以降、『特捜最前線』『八丁堀の七人』『暴れん坊將軍』『水戸黄門』『スーパー戦隊』シリーズなど、数々の人気番組の脚本・助監督・監督を務められました。

パネルディスカッションに先立ち、西川市長より作家・藤井邦夫氏への「旭川観光大使 委嘱状贈呈式」が行われました。通常は旭川市役所で行われるものですが、藤井氏が多忙で旭川に行けないため、特例としてこの場で実施したものです。

作家 藤井邦夫さんへの
旭川観光大使 委嘱状贈呈式



←開会前のひと時、パネルを熱心に読んでいた人が多かった。「なぜ、旭川に啄木なのか？」意味をわかってもらうことが一番のことです。



緑

中央小、日章小、常磐中、明星中
〈河原惟臣〉

啄木とあさひかわミニパネル展
「旭川に石川啄木の歌碑を建てる会」から特別にパネルをご提供いただきました。パネル制作は、元・東京旭川会幹事で、現在は旭川在住の「建てる会」副会長・中村泰敏氏です。



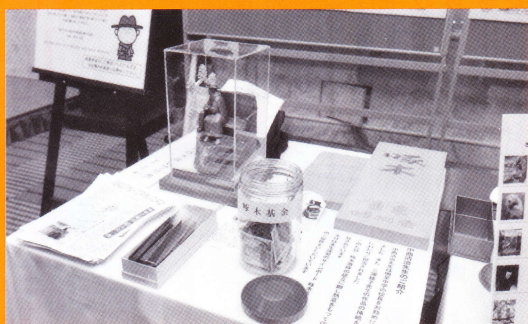
黄

北鎮小、春光小、大有小、大町小、北星中、六合中、北門中
〈西谷内力世〉



青

青雲小、神楽小、神居小、神楽中、聖園中、神居中
〈奥山好美〉



←中村國氏製作の「啄木像」レプリカ、中西清治先生作製の木製「啄木看板」、皮製「啄木琴」などと解説記事を表示。



赤

旭川市江丹別、西神楽、雨粉、東鷹栖、永山、東旭川、道外
〈吉田義勝〉



↑懇親会には旭商同窓会から20名が集合。自己紹介及び校歌斉唱などで大いに盛り上がりしました。

旭商同窓会東京支部は1950年頃、東京及び首都圏で働く卒業生同士が連絡を取り合い結成し、現在では会員数八百余名です。お陰さまで諸先輩のご尽力により、一昨年、椿山荘におきまして設立六〇周年記念祝賀会を盛大に開催することができました。今後は若い年代の入会に力を入れ、会の活性化を図る所存です。

当支部ではこれからも「東京旭川会」の活動に積極的に協力して参りたいと思っております。

旭商は北海道の商業高校中で函館商、小樽商に次いで1922年（大正11年）5月に設立。平成24年に創立九〇周年を迎える歴史と伝統ある学校です。終戦後全道の高校に先駆け男女共学を実施しました。創立からの卒業生数は平成23年3月末で三二、六八六名。多種多様な人材が政治・経済・スポーツ・芸術・芸能・教育界等で活躍しております。

北海道旭川商業高等学校
旭商同窓会東京支部長 大場孝仁
東京旭川会幹事

がんばろう日本!! がんばろう東北!! そして、がんばろう旭川!!

第35回 総会・懇親会。パネルディスカッション

《お断り》皆さまには丁寧にお話しただいておりますが、紙面の都合上、省略を含め、表現上シンプルにせざるを得ない部分もあります。また、テーマ別にまとめた所もあります。ご了承ください。

《参加パネラー》

☆西川将人…旭川市長
☆岩田公雄…読売テレビ特別解説委員
『ウエークアップ! ぶらす』『ミヤネ屋』などの番組で有名。旭川観光大使。
☆中村国(その)…旭川出身の造形作家
《司会》朝比奈康博…旭川観光大使。
東京旭川会事務局長。



「地方都市の市民幸福度No.1」を目指せ



岩田…「少子高齢化の中、地方都市はどうやって生きていくか」これは旭川に限らず地方都市にとっての大きなテーマです。旭川市は東京以北で、札幌、仙台に次いで人口では3番目の都市です。いかに旭川市の魅力度を言い続け、伝えていけるかにかかっているのではないのでしょうか。旭川市は、のどかで、住んでいる人たちが感じる以上に住みやすい町だというのは間違いないのではないのでしょうか。ブータン国の「国民総幸福度」という発想から、旭川市では、「地方都市の市民幸福度No.1」を目指すような発想を市政に取り入れてはどうでしょうか。

私は、1994年に観光大使を命ぜられ、いままで大したお役にも立てずに来ました。せいぜいテレビで、時々「私の出身は旭川市です」と言うくらいでした。その当時はあまりアピールできそうなものがなく、困ったなあと思っていました。旭山動物園の「行動展示」が評価されて、特別のことを言わなくても、旭川に対する理解が深まったと思います。でも、それだけではダメで、後ほど触れますが、いまは、すべてのことを「点から面」の展開をすることが重要と考えます。

司会…そういう中で、私たちのふるさと旭川には特に頑張ってもらいたいと思っています。ここで、2期目に入っ

た西川市長から旭川市の現状、及び市長としてこれから旭川市をどのようにしたいのか、などについて語っていたきたいと思います。

旭川市の現状と課題



市長…震災で直接の被害はありませんでしたが、やはり影響は受けました。例えば、観光部門では、それ以降中国からの週2便のチャーター機が飛ばなくなりました。韓国のアシアナ航空も同様。台湾だけは5月下旬から復活しました。国内はだいぶ回復しつつあります。

以前から台湾の自転車メーカーのジャイアントとの連携もあり、「サイクリングツアー」などを本格化したい。旭川近郊の自然の中でのサイクリングツアーは、滞在型旅行の起爆剤になる可能性が高い。また、イギリス発祥の「フットパス」は、旭川も占冠までの手つかずの自然を泊りながら歩いて到達する屋外スポーツ。これらは観光の新たな魅力になる可能性があります。

もうひとつのテーマは「雇用」です。「地震のない街、災害のない街」はいま注目されています。例えば、鷹栖町にあるホンダのテストコースの増設で旭川市としても市有地を売却するなど積極的に対応しています。また、農業分野では「食ベマルシェ」は2年連続20万人以上の参加者があり大いに盛況です。企業誘致でもセブインレブンなどに卸している総菜メーカーのヤマザキの企業誘致に成功しました。道北のいい野菜を使ったポテトサラダなどのお総菜が提供されます。総合的に旭川の良さをPRするきつかけになればいいですね。

「上野ファーム」から広がる世界

市長…「上野ファーム」から富良野、帯広へと続く「北海道ガーデン街道」は、これからもっと注目される存在になるはずです。また、現在駅の裏手になる志別川の手前に新しいガーデンを作る予定です。「ガーデン」は、観光の新しい素材となります。

司会…「郷土訪問の旅」の際、上野ファームさんに行ってきましたが、皆さん大喜びでした。

岩田…うちの妻も「上野ファーム」なら行ってみたいと申しております。東京からわざわざ行くという気持ちになる所そうですね。初夏にはぜひ行ってみたいと思っています。ところが、地元に関して意外と知らない人がいたり、行っていない人が多いのでちょっと驚いています。

「啄木像」の経緯について

岩田…朝比奈さん、来年春に旭川駅に「啄木像」が建つと聞いていますが、事の経緯をご説明いただけますか。

司会…昨年のこの会議で、今日もおみえですが、会員の近藤典彦さん(前・国際啄木学会会長)から具体的な提案がありました。石川啄木は旭川の歌を四首も詠んでくれている。全国に130以上の歌碑があるのですが、旭川に何もないのはもったいないので、「没後100年」の2012年春に啄木の歌碑を建ててはどうかというのが趣旨でした。観光にも役立ちそうだといいこともあり、1月に旭川へ行って働きかけました所、旭川の地元の有志がドンと受け止めてくださいました。7月に「旭川に石川啄木の歌碑を建てる会」が発足し、現在積極的に活動さ

れています。今日は旭川からわざわざ「建てる会」の相川会長、中川副会長がお越しくださいました。

岩田…ありがとうございます。その「啄木像」を中村園さんが作成されるそうなのですが、どのようなものなのでしょう。どういうイメージで制作されようとしているのかも合わせてお聞かせいただけますか。

「ペールに包まれていた「啄木像」レプリカを原会長が中村さんのテーブルの上に運び、皆さんにご披露」

「どうぞ(銅像)と一緒に!」



中村…作るにあたって、石川啄木の本と資料をたくさん読ませていただきました。啄木さんは行く先々で恋をしたり、もめごとを起こしたり、借金したり、まるで映画の「フーテンの寅さん」のようだと感じました。普通の人がなりたいたけれど、なれない存在なのかもしれません。私の中でこれなら造形にできると思ったのはこの歌です。

水蒸気
列車の窓に花のごと凍ててを染むる
あかつきの色

1902年(明治35)に氷点下41度Cという日本の最低気温を記録した冬の寒さは、私たち旭川育ちにはなんと想像できます。この像では、石川啄木さんは、極寒の列車の座席で、窓の「霜の花」を見えています。その愛すべき啄木さんと手が触れられそうな、親しみやすい銅像をイメージしてみました。隣に座って、一緒に記念写真を撮ってもらってもいいですよというち

啄木像制作座談会



↑啄木レプリカを前に、中西先生の揮毫された四首を手に。左から、提案者の近藤典彦氏、揮毫家の中西清治氏、啄木像制作者の中村園氏の皆さまと、東京旭川会会長の原公朗。

司会（朝比奈）…本日は、「啄木像」のご提案者、制作者、揮毫家、そしてこの運動のきっかけを作った「東京旭川会」の会長と、すっかり役者が揃いました。なかなかこのような機会は作れませんので、「啄木像」に関わるお話をそれぞれのお立場でしていただきたいと思えます。先ず、ご提案者の近藤先生からお願いいたします。

近藤…先日の「東京旭川会」に啄木パネル展があり、啄木コーナーで初めて啄木像レプリカを拝見して感激しました。1年前の提案がここまで

具体的になるとは夢のようです。東京旭川会の動きによって、地元旭川側が主体的に受け止め取り組んでくれたことは、素晴らしい立派な市民運動ですね。

司会…先日のパネルディスプレイで、西川市長はこのようなスピードと市民運動は大事なことでと認識を新たにされていたのうっしやいました。啄木ミニパネル展で、市民・文化運動の意味合いが市長及び市の幹部、また会員の皆さんにも理解していただいたのかもしれないですね。今回制作の啄木像のテーマは、「水蒸気」の歌ですが、近藤先生、ちょっと解説をお願いできますか。

近藤…いわゆる「茶のぬるさかな」と「水蒸気」は、宮越屋旅館に泊まった翌日の「寒さ」を表した歌なのです。旭川の気象台で調べたところ、明治41年（1908）1月21日朝の気温は氷点下27.1度Cでした。私たち旭川育ちにとっては、淹れたてのお茶がすぐぬるくなり、列車の窓の「霜の花」のイメージと息も凍るような気温というのがよくわかるような気がします。この歌の「あかつき」は、東側の大雪山の方の空が日の出の前に赤く焼けてきた時を指しています。

中村…私も造形にするとしたら「水蒸気」しかないと思っていました。また、中西先生の字がとても気に入ってしまいましたので、なんとか書いていただきたいと思いました。数十枚書いてみました。ちょっと皆さんで見てくださいたいと思います。「全員で検討に入り、像の中の嵌め込み位置なども決めました」

近藤…ここまで具体的にしてくれば、盛岡や高知、函館、小樽、札幌、釧路を結ぶような「啄木街道」を呼びかけて、「啄木姉妹都市」のような連携ができればいいですね。

中西…確かにそうですね。今の私はそういうことを含めて完成・除幕の準備で頭が一杯です。

原…「東京旭川会」できっかけを作ることができてよかった。これから東京と地元は密接に連携しながら、ぜひこの大事業を成功させたいものです。

中村…皆さんの熱い思いを形にするのが私の仕事です。改めて、啄木さんがよく旭川に寄って、歌を詠んでくれたものと感謝しています。この歌が、「あかつきは寒かったんだ」ということを思い出させてくれました。旭川に啄木像を作るということは、私にとっては旭川への恩返しのようなものです。

経歴
★近藤典彦…旭川東高卒。元群馬大学教授。前・国際啄木学会会長。「啄木像」提案者。
★中西清治…旭川東高卒。元・明星中学校校長、三浦綾子作品の挿絵画家としても有名。
「旭川に石川啄木の歌碑を建てる会」会長代行



→啄木像レプリカ：高さ2.3mの銅像が、「石川啄木没後100年」の4月13日に除幕されます。啄木さんの隣に座って記念写真を撮どうぞ（銅像）と一緒に！



←中西清治さんが啄木像制作記念として謹製された「啄木羊羹」。ただし、売り物ではありません。



↑旭川市に飾られた7mの巨大な「ハウルの動く城」。アレグロの詳細は<http://www.arregro.co.jp>でどうぞ。

「三次元の造形魔術師」中村園さん

スタジオ・ジブリの代表取締役プロデューサーの鈴木敏夫氏が最新の著書「ジブリの哲学」の中で、アレグロの中村園社長のことを「ナウシカ、トトロ、カオナシ、ハウルの動く城…これまで、多くのジブリ映画の登場人物たちがスクリーンの中から抜け出し、手に触れることのできる三次元の世界に降り立った。二次元の絵を三次元の物体に生まれ変わらせるモノづくりの魔術師、それが中村園さんだ。」と絶賛している。

中村園さんは、北都中学校・旭川東高を卒業。1991年造形会社アレグロを設立。スタジオ・ジブリの作品の他、ドラえもん、トランスフォーマー、アンパンマン等の立体造形、いま人気の「ゆるキャラ着ぐるみ」作品など幅広い。旭川市との縁では、日本テレビの新ビルオープンの際、玄関に飾られた巨大な「ハウルの動く城」が、平成17年10月から20年4月まで科学館でアッシュで披露された。

第24回 郷土訪問の旅

東京旭川会 副事務局長 山原正博

第24回郷土訪問の旅は昨年9月8日に19名で出発。旭川空港到着後、爽やかな初秋の風が吹く中、「大雪の蔵」に向かいました。昼食に先立ち、原会長の挨拶、参加者の自己紹介が和やかな雰囲気の中で行われました。また、議会開催中にもかかわらず西川市長が駆けつけて歓迎のご挨拶をくださり、全員で記念撮影。

昼食後は永山町の「上野ファーム」を訪問。英国風の庭には色鮮やかな花が秋ならではの風景をつくり出しており、心癒されるスポットでした。季節の花々を楽しんだ後は、同ファームのガーデンデザイナー・上野砂由紀さんに加わっていただき記念撮影をしました。



↑恒例の「大雪の蔵」での昼食後、西川市長を中心に記念撮影。



↑木漏れ日の中、上野ファーム・上野砂由紀さんと会えてみんなニコニコ顔。



↑新装なった旭川駅の夕刻のホームで、まるでヨーロッパの駅のようだという声。

次の訪問先は完成間近い旭川駅で、市の担当者から駅周辺の整備計画等の説明を受けました。タモの木を沢山使い、まるでコンサートホールのようなコンコース、1万人の「名前を刻むプロジェクト」の壁、夕刻のイタリアの駅にでも来たかのようなデザインの家々等を見学しました。最後に、東京旭川会も支援している「石川啄木像」設置予定の「観光物



↑上野砂由紀さんとツーショット。「旗持ち」の役得!?

産情報センター」のエリアも確認。いい場所です。本年4月の除幕式が楽しみです。

翌9日には、本会幹部が手分けして旭川市、旭川商工会議所、協賛各社等を表敬訪問。夜には希望者が参加して居酒屋「ししとう」で旭川市役所の担当者、以前

前の東京事務所経験者を含めての22名の交流懇親会が行われ、大いに盛り上がり、親交を深めました。

上野ファームは「北海道ガーデン街道」の出发点!

上野砂由紀さんが英国の園芸留学から帰国し、庭を「上野ファーム」として一般に開放したのが2001年から。2004年には著名な園芸誌「BIESS」のコンテストでグランプリを受賞し、有名ガーデンとなった。その後、2008年に放



↑ミラーボーダーの庭。ガーデンショップ「丘のふもと小さな苗屋」には珍しいものも。地元酪農家さんのソフトクリームは抜群。

送された倉本聰さん脚本のテレビドラマ『風のガーデン』の舞台となる富良野の庭園も上野さんが手がけた。また、このドラマに「上野ファーム」も舞台として登場することで一躍有名になった。

最初はイングリッシュガーデンとして出発したが、北海道の庭園は、北海道外と異なる独自の気候・風土・文化をもつため、英国風庭園とは一線を画し、今は「北海道ガーデン」と名乗っている。2009年より富良野・十勝地方のガーデンと連携し展開している『北海道ガーデン街道』の出发点でもあり、終着点でもある。ますます人気の観光スポットになりそうです。

旭川商業高校、「吹奏楽の甲子園」に三年連続出場!

旭商吹奏楽部は杉並区普門館において開催されました第五九回「全国吹奏楽コンクール高校の部」に三年連続で出場しました。全



↑2011年10月23日、東京都杉並区「普門館」にて。指揮・佐藤淳先生、生徒62名での立派な演奏。

す。なかなかできないことで、誇っていいことなのではないでしょうか。顧問の佐藤淳先生、生徒の皆さん大変お疲れ様でした。

「三年連続出場校は参加できない」という大会規定により、今年はお出場でできませんが、更に鍛錬を重ね、演奏技術を磨き、再び日本全国にその美しいハーモニーをぜひ披露していただきたいと思います。「東京旭川会」としても応援させていただきます。

*本年度第25回郷土訪問の旅は、6月14日(木)出発の予定です。ご希望の方に改めてご案内いたします。

第35回 東京旭川会総会・懇親会出席者一覧(順不同)

東京旭川会の新役員構成

■会長
原 公朗

■副会長
加藤 桂子

■事務局長
朝比奈 康博

■副事務局長
海老澤 美智子

■事務局
三井 尚美

■会計
野作 雅章

■幹事
伊塚 清

■顧問
高橋 正夫

■相談役
大野 武夫

【出席者】は旭川観光大使の方です。敬称略

あ 朝倉 隆司

朝比奈 康博

阿部 薫

石原 幸雄

板岡 功雄

伊塚 清

猪瀬 英雄

今井 昭吉

今津 寛

岩田 公雄

岩淵 清司

植木 宏昌

浦木 勲

海老澤 美智子

遠藤 哲

大岡 ノリコ

大竹 龍雄

大友 勝美

大野 武夫

大場 孝仁

岡崎 悦子

岡崎 友典

奥山 好美

尾崎 千恵子

尾崎 嘉子

小柳 弘子

片桐 紀恵

加藤 喜代美

加藤 桂子

加藤 文哉

金子 登

河原 惟臣

神田 洋子

木崎 秀夫

北の富士 勝昭

北村 武宏

工藤 琢哉

窪田 敬昭

熊野 勝文

煙山 克郎

木幡 功

小松 仁志

近藤 典彦

近野 光佑

齋藤 勝男

齋藤 崇文

齋藤 千鶴子

齋藤 弘明

櫻井 悠

佐々木 隆博

佐々木 護

佐藤 幸博

佐藤 まゆみ

佐藤 美紀

沢田 幸人

沢田 研二

島田 嘉明

白倉 伸也

杉本 一美

杉本 隆利

鈴木 英樹

鈴木 啓正

宗万 裕

高木 宏明

高橋 伸二

高橋 照美

滝沢 敏

滝沢 章子

竹原 茂雄

田中 ひとみ

丹保 冬司夫

綱島 正寛

富樫 勝行

飛澤 文

内藤 ひろみ

仲川 有

中村 栄子

中村 園

中山 朋子

梨木 滝也

那須 利雄

並河 典子

西岡 康浩

西谷 茂

西谷内 力世

野作 雅章

野村 民子

長谷川 明子

島山 博文

原 公朗

原 卓徳

東木 久代

廣野 貴之

福田 淳一

藤井 邦夫

船山 喜美子

堀田 康雄

堀田 紀子

増田 晴紀

松浦 啓智

松島 篤

松田 勇三

松原 愛

水口 國雄

三井 隆志

三井 尚美

三垣 正憲

宮川 秀史

宮元 健次

三田 修一

村上 和雄

森 陽一

安井 規雄

山川 智

山崎 正之

山崎 摩耶

山原 正博

湯佐 富治

横田 茂

吉崎 與一

吉田 義勝

米陀 徳光

和田 睦夫

【協賛・ご協力御礼】

旭川市長

旭川市議会

旭川商工会議所

旭川観光協会

旭川市総合政策部

旭川市経済観光部

旭川市農政部

旭川市水道局

旭川空港ビル

北海道国際航空

旭川グランドホテル

旭川ターミナルホテル

ホテルクレセント旭川

ホテルクレセント旭川

ハイアットリージェンシー東京

オエノンホールディングス

男山

サッポロビール

ニッカウヰスキー

今野醸造

佐賀孝郎商店

大心堂雷おこし

「啄木羊羹」中西清治

藤原製菓

北海道村

明治

（株）口バ菓子司

（株）旭川振興公社

（株）サキエ工芸

（株）旭ダンケ

北海道新聞社東京支社

編集後記

今回の懇親会は大きな成功でした。参加者相互の親睦がより一層深まるようにと、幹事の提案で新しいアイディアを試みました。参加者を八つのグループに分け、幹事がそのグループリーダーになって紹介役を務めました。各グループがひとつの『輪』になりました。にぎやかな会話や笑い声が会場を満ち、いつの間にか大きな一つの『輪』になったようです。

会長挨拶として、平仮名の『わ』についてお話ししました。なごむ『和』会話の『話』、そしてつながる『輪』『環』。今回の懇親会は、この『わ』がその言葉通りに実現したようです。会長として嬉しくてたまりません。

今後も幹事一同が、その気持ちを忘れずに、「より良い会」を目指して行こうと申し合わせております。（原）

＊ ＊ ＊

パネルディスカッションのページがギョウギウギめになり申し訳ございません。1時間30分の内容が濃かった結果だと思います。お許しください。

「昨年の「東京旭川会」で提案された「啄木像」が「啄木没後100年」の命日にあたる本年4月13日に除幕されるのが正式に決定しました。地元旭川と東京の連携の産物で、喜ばしい限りです。募金へのご協力ありがとうございます。今後ともご支援をお願いいたします。除幕後、実際に啄木さんと記念写真を「どうぞ（銅像）と一緒に！ お楽しみください。（朝比奈）



＊本年度(平成24年)第36回の総会・懇親会は、10月27日(土)午後6時からです。ご予約ください。8月に改めてご案内いたします。

- 旭川市長 西川 将人様
- 旭川市議会議長 三井 幸雄様
- 旭川商工会議所会頭 新谷 龍一郎様
- 旭川市総合政策部長 岡田 政勝様
- 旭川市経済観光部長 佐々木 恵一様
- 旭川市議会議務局長 森下 元様
- 旭川市総合政策部秘書課長 大鷹 明様
- 旭川商工会議所企画総務部企画総務課主査 中田 崇太様
- 旭川市総合政策部秘書課 前多 孝美様
- 旭川に石川啄木の歌碑を建てる会会長 相川 正志様
- 旭川に石川啄木の歌碑を建てる会副会長 中川 校一様
- 北海道新聞東京支社 鶴井 亨様
- 北海道ふるさと会連合会会長 伊野 達哉様
- 登録げんきかい会長 竹村 勝彦様
- 北海道国際航空(株)東京支店主席 小泉 久美様
- サッポロビール(株)営業推進部長 手島 孝雄様
- 衆議院議員(北海道第6区) 佐々木 隆博様
- 衆議院議員(北海道ブロック) 今津 寛様
- 衆議院議員(北海道ブロック) 山崎 摩耶様

- 朝比奈 康博
- 岩田 公雄
- 海老澤 美智子
- 太田 征
- 大野 武夫
- 大場 孝仁
- 恩田 一
- 加藤 桂子
- 河原 惟臣
- 北の富士 勝昭
- 北村 武宏
- 熊谷 静夫
- 小柳 功
- 小幡 武二
- 須藤 智恵子
- 高井 富美枝
- 高橋 文子
- 高畑 敏
- 西岡 康浩
- 西谷内 力世
- 沼田 賞
- 原 公朗
- 原 卓徳
- 東木 久代
- 平澤 民義
- 水口 國雄
- 三井 尚美
- 安井 規雄
- 山崎 秀幸
- 山田 正博
- 横田 茂
- 吉田 義勝